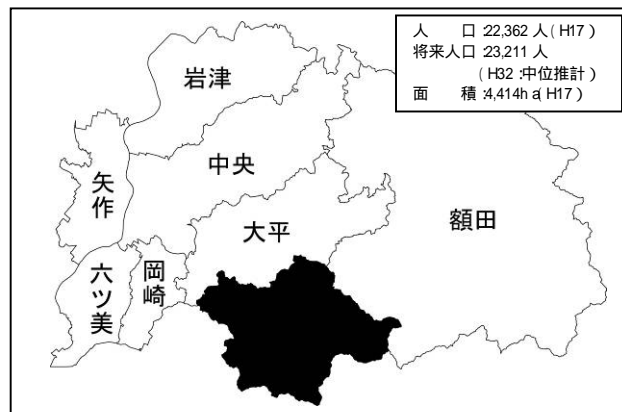


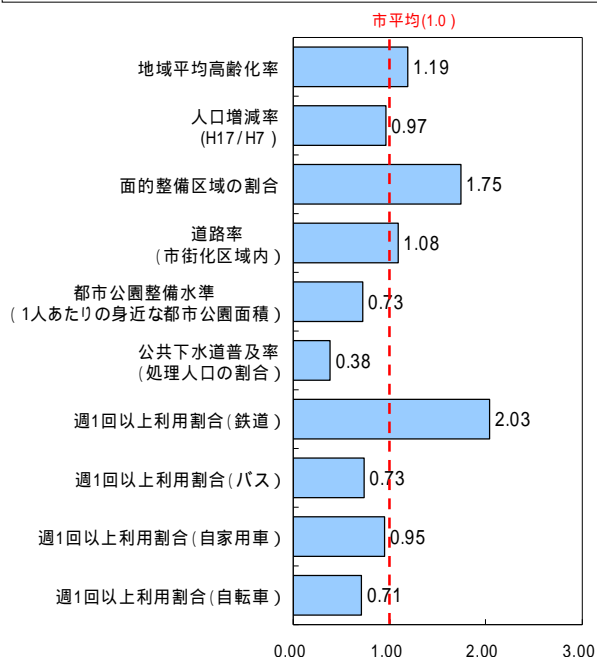
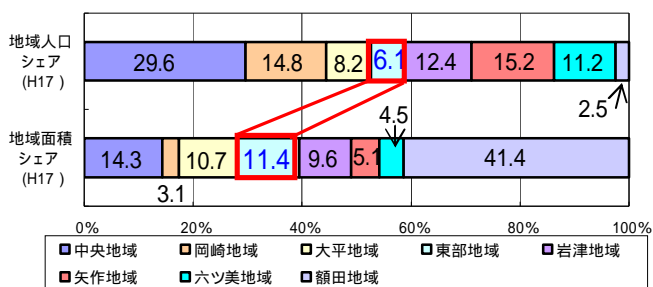
# 東部地域のまちづくり

## (1) 地域の現状

国道1号、鉄道沿いには带状に市街化区域が指定されており、その北側、南側の市街化調整区域には森林が広がり、その谷筋には集落、農地が分布しています。



各指標の市平均との相对比较



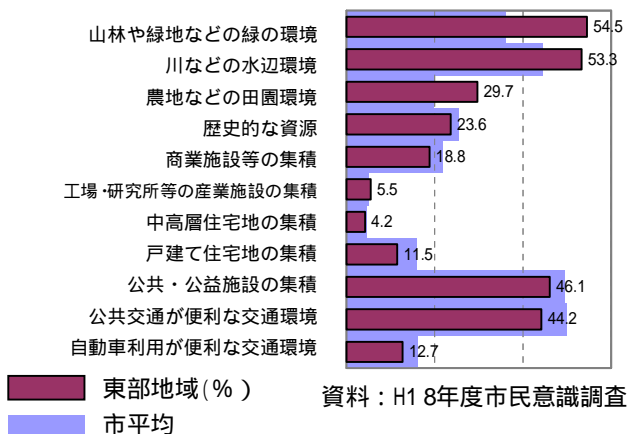
資料：国勢調査、都市計画基礎調査、市民意識調査等

現況のまとめ

急行停車駅である本宿駅は地域の中心となっています。豊富な歴史的資源を有し、また、広域交通軸である国道1号が地域を縦貫しています。鉄道利用は非常に高い割合を示していますが、バス利用は市平均を下回っています。

(仮称)額田ICにアクセスする都市計画道路の整備が予定されるとともに、地域内の円滑な移動の確保が求められています。公園緑地、下水道の整備率が比較的低くなっています。岡崎蓑川南部土地区画整理事業が施行中です。

## 市民が望むまちづくりの将来方向



資料：H18年度市民意識調査

東海道の道筋や藤川宿など豊富な歴史的資源を有しています。市街化調整区域の一部に三河湾国定公園が指定されているなど緑豊かな森林・農地が分布しており、水辺・みどりや田園環境を活かしたまちづくりが求められています。

指標の相对比较(左図) ワークショップ

市民意向(左図) H19地域別現況

## (2)まちづくりの体系

### 拠点づくりに係る課題

本宿駅周辺における交通利便性を活かした拠点づくり

地域の核となる拠点を形成するため、本宿駅周辺における都市機能の集積強化が必要です。

広域交通条件(国道1号沿い)を活かした拠点づくり

個性豊かな地域環境のさらなる向上を図るため、広域交通基盤(国道1号)を活かした拠点づくりが必要です。

交通結節機能の充実

鉄道とバス交通等の連携を強化するため、交通結節機能の充実が必要です。

### まちづくりの目標

目標1  
地域資源を活かした地域拠点・交流拠点を形成する

### まちづくりの方針

本宿駅周辺の都市機能の強化

藤川駅周辺の交流機能の強化

本宿駅、藤川駅における交通結節機能の整備

### 都市基盤施設整備等に係る課題

幹線道路等の充実

(仮称)額田ICへのアクセスや地域内の円滑な交通環境を確保するため、幹線道路の充実が必要です。

身近な生活基盤施設の充実

快適な生活環境を確保するため、良質な住宅地の供給と併せた公園、下水道等の生活基盤の充実が必要です。

目標2  
安全でゆとりある市街地を形成する

安全で利便性の高い道路交通環境の形成

公園、下水道・河川の整備

安全で快適な住環境の確保

### 土地利用・景観等の規制・誘導に係る課題

藤川宿の歴史的街並み景観の形成や東海道の松並木の保全

藤川宿等の歴史性を活かした個性のあるまちづくりを推進するため、歴史的街並み景観の形成や景観樹木等の保全が必要です。

自然環境の保全

里山や農地がもつ多様な機能の向上を図るため、自然環境の保全・活用が必要です。

目標3  
自然や歴史と共生した地域環境を創造する

歴史的まちなみ景観の形成

里山や農地の保全・活用と農村環境の充実

### (3) まちづくりの方針

#### 目標 1 : 地域資源を活かした地域拠点・交流拠点を形成する

本宿駅周辺の都市機能の強化、藤川駅周辺の交流機能の強化、本宿駅、藤川駅における交通結節機能の整備に努めるなど、歴史性豊かで、交流・賑わいにあふれる拠点の形成を目指します。

#### 方針 1 : 本宿駅周辺の都市機能の強化

- ・本宿駅周辺の市街地においては、地域の玄関口にふさわしい拠点を形成するため、既存の公共施設を有効活用するなど、既存ストックを活用しつつ、地域住民の日常生活に不可欠な商業施設や福祉施設等の生活利便機能の集積を誘導します。
- ・岡崎の東部地域の拠点にふさわしいアクセス性の向上を図るため、都市計画道路本宿榎山線の整備を進めます。
- ・自転車や徒歩で移動しやすい拠点、にぎわいのある商業機能の形成を図るため、歩行者空間の整備を検討します。

#### 方針 2 : 藤川駅周辺の交流機能の強化

- ・藤川駅周辺では、旧東海道藤川宿の歴史性との調和に配慮しつつ、交流と賑わいの創出による地域の活力向上を図るため、国道 1 号休憩施設の誘致と東部地域交流センター、道の駅地域振興施設の整備を推進します。
- ・観光客の増加や地域の賑わいを創出するため、旧東海道藤川宿の歴史的資源等を活かしたまちづくりを推進します。



藤川地区整備計画イメージ  
(藤川地区整備計画)

### 方針 3 : 本宿駅、藤川駅における交通結節機能の整備

- ・ 藤川駅では歩行者等の安全性を確保するため、名鉄本線と歩行者道の立体化や踏切の拡幅に取り組みます。
- ・ 都心と地域拠点間におけるバス交通の連携強化を図るため、優先的に確保すべきバス路線として東西の基幹軸（市民病院～額田支所～本宿駅）を位置づけます。

## 目標 2 : 安全でゆとりある市街地を形成する

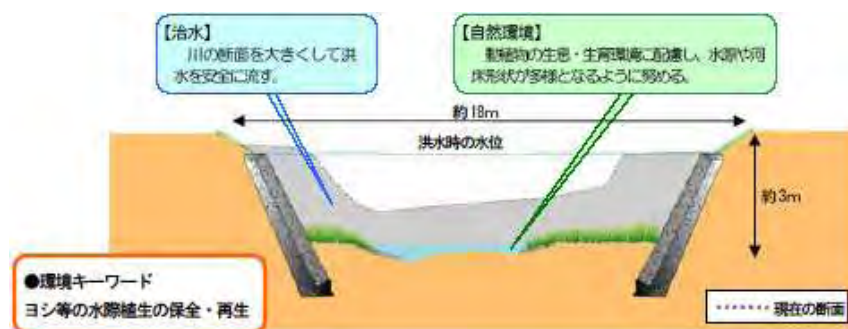
安全で利便性の高い道路交通環境の形成、公園、下水道・河川の整備、安全で快適な住環境の確保に努めるなど、安全でゆとりある都市基盤の整った市街地の形成を目指します。

### 方針 1 : 安全で利便性の高い道路交通環境の形成

- ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路美合線や本宿檜山線の整備を進めます。
- ・安全で快適に移動できる道路環境を実現するため、自転車歩行者道の整備を進めます。

### 方針 2 : 公園、下水道・河川の整備

- ・質の高い居住環境を確保するため、街区公園や公共下水道等の整備を推進します。
- ・竜泉寺川については、隣接する岡崎菘川南部土地区画整理事業と連携を図るとともに、自然環境に配慮した河川改修を河川管理者に要望します。



竜泉寺川整備断面イメージ  
(乙川圏域河川整備計画)

### 方針 3 : 安全で快適な住環境の確保

- ・安全で快適な住環境を確保するため、岡崎菘川南部土地区画整理事業を促進し、道路、公園等の公共施設の整備と併せて、良質な住宅宅地の供給に取り組みます。
- ・住宅地での良好な環境を保全するため、生活道路等の整備を推進します。
- ・東部工業団地については、操業環境の保全、計画的な土地利用を実現するため、市街化区域への編入を検討します。
- ・複合市街地の一団の未利用地については、計画的な市街地を形成するため、土地区画整理事業等の検討を進めます。

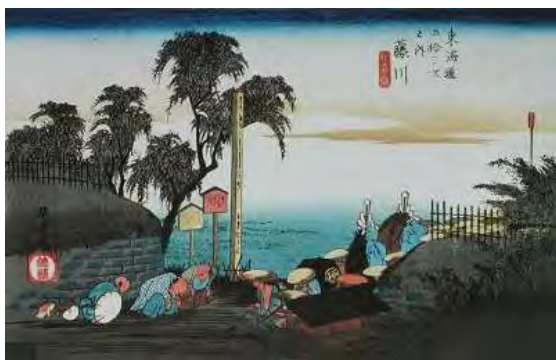


### 目標 3 : 自然や歴史と共生した地域環境を創造する

歴史的まちなみ景観の形成、里山や農地の保全・活用と農村環境の充実に努めるなど、自然や藤川宿等の歴史と共生した地域づくりを目指します。

#### 方針 1 : 歴史的まちなみ景観の形成

- ・旧東海道藤川宿の歴史的なまちなみの魅力の向上を図るため、地区計画、建築協定等を活用し、統一感のあるまちなみ景観の誘導を図るとともに、歴史的景観に配慮し電線類の地中化やストリートファニチャーの整備等に取り組みます。
- ・旧東海道の面影のある道路景観を形成するため、東海道の松並木の保全・補植に取り組みます。



安藤広重の東海道五拾三次之内・藤川  
『棒鼻の圖』



藤川宿脇本陣跡

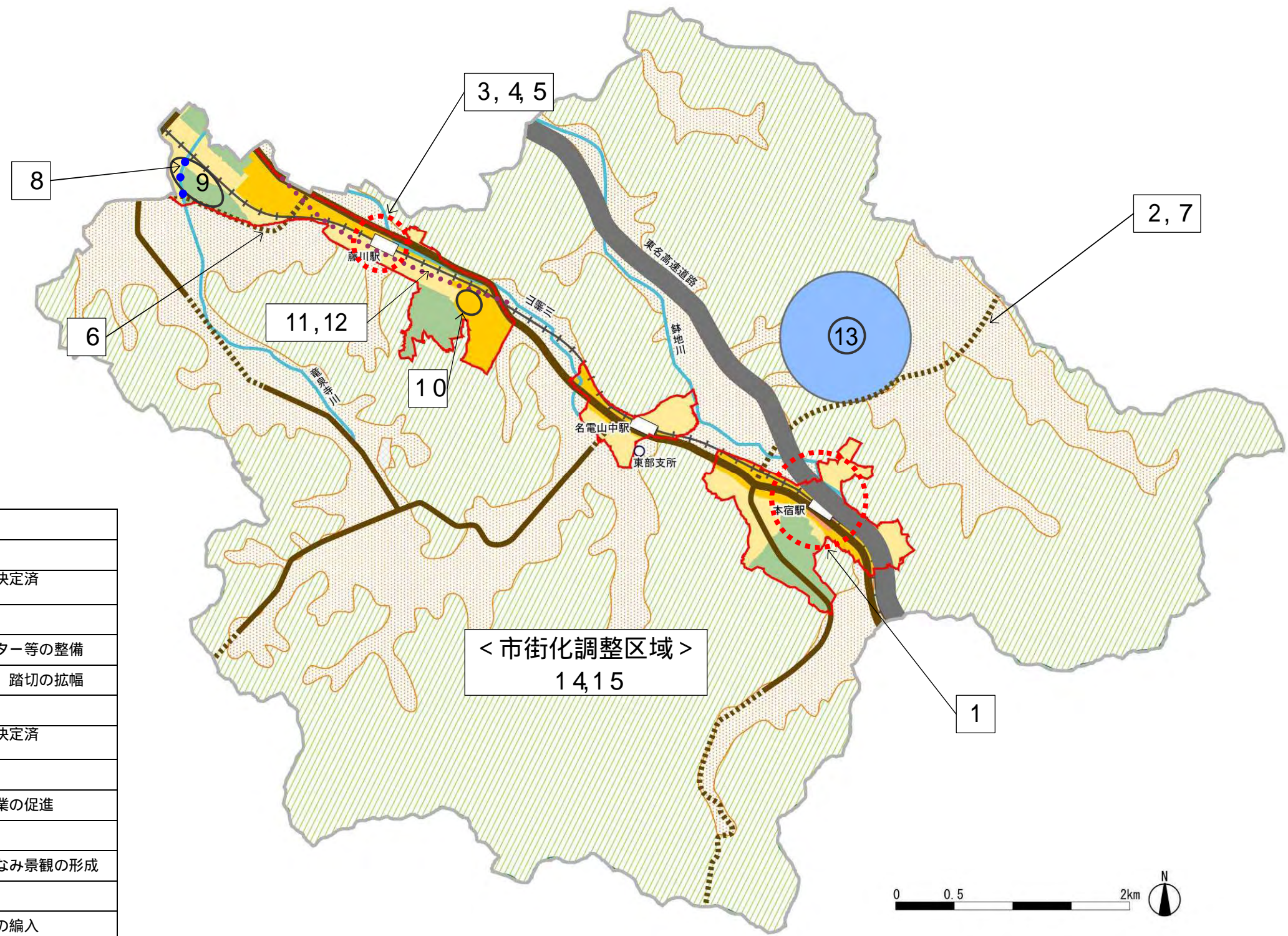
#### 方針 2 : 里山や農地の保全・活用と農村環境の充実

- ・生物多様性の保全を図り、市民が身近に自然を感じられるように、市街地の緑地や里山である市街地近郊の雑木林の保全・活用を推進します。
- ・生物多様性の向上に努めるため、池沼、湿地等を保全します。
- ・集落地等の生活環境の維持・向上を図るため、生活環境施設等の充実を目指します。



# 東部地域のまちづくり構想図

- 専用住宅地
- 一般住宅地
- 商業賑わい地
- 沿道複合地
- 複合市街地
- 工業地
- 学術文教地
- 主な公園・緑地
- 森林保全地（市街化調整区域）
- 農業保全地（市街化調整区域）
- その他（市街化調整区域）
- 市街化区域境界
- 高速道路（計画）
- 主要幹線道路（未整備）
- 都市幹線道路（未整備）
- 地区幹線道路（未整備）
- 新規・拡幅構想道路
- 拠点等の区域
- 河川事業区間
- 施策の概ねの位置に図示
- 施策の位置を矢印で示す



計画の内容		
目標 1	1	生活利便機能の集積
	2	本宿榎山線の整備：都市計画決定済（拠点アクセスの向上）
	3	道の駅の整備
	4	藤川駅周辺における交流センター等の整備
	5	名鉄本線と歩行者道の立体化、踏切の拡幅
目標 2	6	美合線の整備
	7	本宿榎山線の整備：都市計画決定済（ICアクセスの向上）
	8	竜泉寺川の改修
	9	岡崎菘川南部土地区画整理事業の促進
	10	土地区画整理事業等の検討
目標 3	11	旧東海道藤川宿の歴史的まちなみ景観の形成
	12	東海道の松並木の保全・補植
	13	東部工業団地の市街化区域への編入
	14	集落環境の維持・向上
	15	池沼、湿地等の保全

( 余白 )

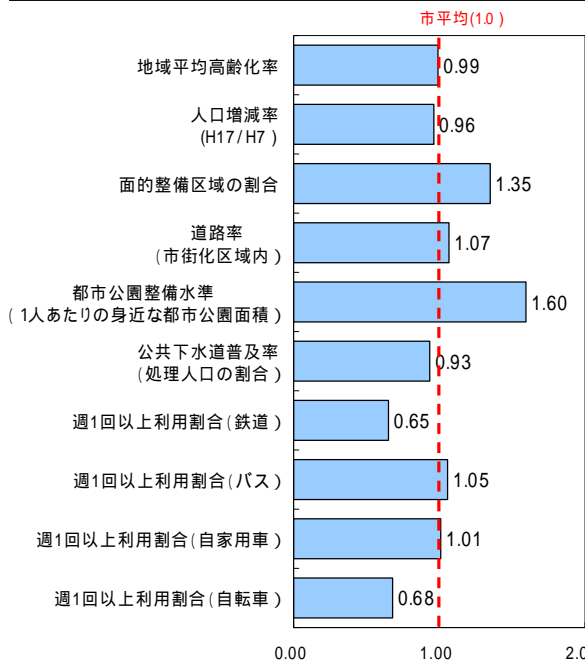
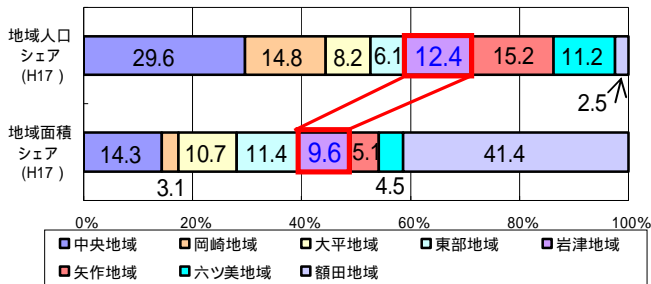


# 岩津地域のまちづくり

## (1) 地域の現状

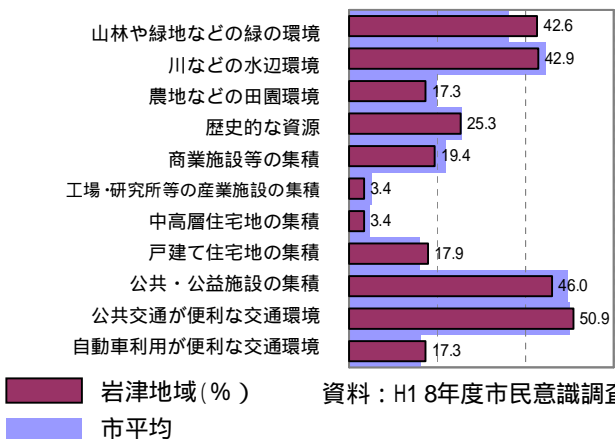
地域西部の矢作川左岸の平野部では国道 248号沿道に市街化区域が指定され、東部ではその大半が市街化調整区域の森林で占められており、一部団地開発による島状の市街化区域が点在しています。

各指標の市平均との相対比較

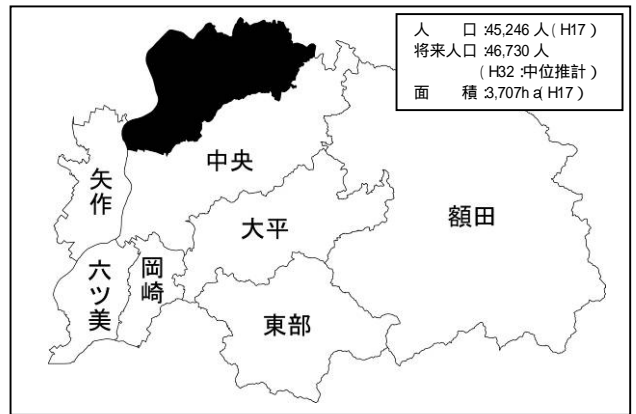


資料：国勢調査、都市計画基礎調査、市民意識調査等

### 市民が望むまちづくりの将来方向



資料：H18年度市民意識調査



現況のまとめ

岩津支所周辺は地域の地区拠点として位置づけられています。(全体構想)

地域周辺には豊田東ICが位置し、(仮称)岡崎SAの整備が予定されています。また、地域内には国道248号が通っているなど交通の利便性が高い地域です。国道248号、岡崎足助線では交通渋滞が発生しており、自動車交通の利便性が求められています。下水道の整備率は比較的低下しています。公共交通の利用割合(バス7.8%：市平均を1.0とした場合に1.05相当、鉄道6.2%：同0.65相当)は低く、公共交通の利便性の向上が求められています。

市街地に多く分布している寺社やおかざき自然体験の森、矢作川といった資源を活かしたまちづくりが求められています。大樹寺一帯では良好な景観が形成されているとともに、大樹寺から岡崎城が眺望できます。市街化調整区域の自然環境の保全と活用が求められています。

指標の相対比較(左図) ワークショップ

市民意向(左図) H19地域別現況

## (2)まちづくりの体系

### まちづくりの 目標

### まちづくりの 方針

#### 拠点づくりに係る課題

岩津支所周辺の生活利便機能の強化  
地域の核として、活力を維持していくため、岩津支所周辺の生活利便機能の強化が必要です。

目標1  
岩津支所周辺において住民が集い、ふれあう地区拠点を形成する

コミュニティ機能の強化

#### 都市基盤施設整備等に係る課題

優位な広域交通条件の活用  
豊田東 IC との近接性、国道 248号の通過等、利便性の高い広域交通基盤の活用が必要です。  
幹線道路等の充実  
円滑で利便性の高い交通環境を確保するため、幹線道路等の充実が必要です。  
都市基盤施設の充実  
安全で快適な生活環境を確保するため、道路、下水道等の都市基盤施設の整備水準の向上が必要です。  
公共交通の利便性向上  
住民ニーズの高い公共交通の利便の向上が必要です。

目標2  
職住が近接し、快適な都市基盤の整った市街地を形成する

産業拠点づくりの検討

安全で利便性の高い道路交通環境の形成

道路、下水道等の整備

公共交通の充実と利用促進

#### 土地利用・景観等の規制・誘導に係る課題

水とみどりを活用したふれあい機能の強化  
地域のふれあい機能を強化するため、矢作川等の地域資源の活用が必要です。  
大樹寺一帯の良好な景観の保全と岡崎城の眺望の確保  
地域景観の向上を図るため、大樹寺一帯の豊かな景観や岡崎城の眺望の確保が必要です。  
自然環境の保全と集落環境の維持向上  
矢作川や里山等がもつ多様な機能の向上を図るため、自然環境の保全と集落環境の維持向上が必要です。

目標3  
矢作川等の自然や多くの歴史を活かした地域環境を創造する

大門緑地における水辺環境の整備

地域資源を活かした景観の形成

里山や農地の保全・活用と農村環境の充実

### (3)まちづくりの方針

#### 目標 1 : 岩津支所周辺において住民が集い、ふれあう地区拠点を形成する

岩津支所周辺に、北部地域交流センター、市民ホーム等の住民の交流・文化活動に資する施設があります。このような既存ストックを中心にして、岩津支所周辺では、コミュニティ機能を高め、住民が集い、ふれあう地区拠点の形成を目指します。

#### 方針 1 : コミュニティ機能の強化

- ・岩津支所周辺の市街地においては、日常の地区拠点にふさわしい公共施設を中心としたコミュニティ・交流機能の強化を進めます。
- ・地区拠点にふさわしい市街地を形成するため、最寄り品を主体とした商業施設を誘導し、生活利便機能の強化に努めます。
- ・大樹寺等市街地に多く分布する寺社を活用し、身近に地域の歴史性が感じられるような快適に暮らせる拠点市街地の形成を目指します。

## 目標 2：職住が近接し、快適な都市基盤の整った市街地を形成する

産業拠点づくりの検討、安全で利便性の高い道路交通環境の形成、道路、公園、下水道等の整備、公共交通の充実と利用促進に努めるなど、職住が近接し、快適な都市基盤の整った市街地の形成を目指します。

### 方針 1：産業拠点づくりの検討

- ・ 豊田東 IC 至便の位置にあり、国道 248 号等の広域幹線道路が通る優位な交通条件を活用し、新たな工業地の確保を関係機関に働きかけるとともに、市街化区域への編入についても検討します。

### 方針 2：安全で利便性の高い道路交通環境の形成

- ・ 国道 248 号の慢性的な交通渋滞に対応するため、都市計画道路岡崎駅平戸橋線の整備に努めます。
- ・ 豊田市方面への円滑なアクセス環境を実現するため、岡崎豊田線の整備を進めます。また、新たな幹線道路として市道岩津細川線バイパスの整備を進めます。

### 方針 3：道路、下水道等の整備

- ・ 居住環境の改善を図るため、土地区画整理事業等の活用により、良質な住宅宅地の供給とあわせて、計画的な基盤施設の整備を検討します。
- ・ 安全で快適に移動できる道路環境を実現するため、自転車歩行者道の整備を進めます。

### 方針 4：公共交通の充実と利用促進

- ・ 都心と地域間におけるバス交通の連携強化を図るため、優先的に確保すべきバス路線として南北の基幹軸（奥殿陣屋～大樹寺～東岡崎駅～岡崎駅）を位置づけます。
- ・ 大樹寺バスターミナルでは、乗り継ぎしやすく快適な待合空間の整備を検討します。



### 目標 3 : 矢作川等の自然や多くの歴史を活かした地域環境を創造する

大門河川緑地における水辺環境の整備、地域資源を活かした景観の形成、里山や農地の保全・活用と農村環境の充実に努めるなど、矢作川等の豊かな自然や大樹寺等の多くの歴史を活かした地域づくりを目指します。

#### 方針 1 : 大門河川緑地における水辺環境の整備

- ・良好な水辺環境を市民の憩いの場や交流の場として活用するため、矢作川水辺プラザ事業により、スポーツ広場ゾーン、水辺広場ゾーン、親子交流広場ゾーン、自然体験広場ゾーン、レクリエーション広場ゾーン等からなる大門河川緑地の整備を推進します。



大門緑地の整備イメージ（市HP）

#### 方針 2 : 地域資源を活かした景観の形成

- ・大樹寺から岡崎城が眺望できることから、景観法や景観保全地区（岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例）等の活用により、大樹寺周辺の景観の保全とともに、岡崎城の眺望の確保に取り組みます。

### 方針 3：里山や農地の保全・活用と農村環境の充実

- ・生物多様性の保全を図り、市民が身近に自然を感じられるように、市街地の緑地や里山である市街地近郊の雑木林の保全・活用を推進します。
- ・魅力と活力のある地域農業の確立を図るため、優良農地の保全と有効活用を支援します。
- ・自然とのふれあいの場を確保するため、おかざき自然体験の森を整備します。
- ・集落地等の生活環境の維持・向上を図るため、生活環境施設等の充実を目指します。
- ・中山間地域における交流を促進するため、奥山田のしだれ桜や水辺のホタルの保全・活用を図ります。

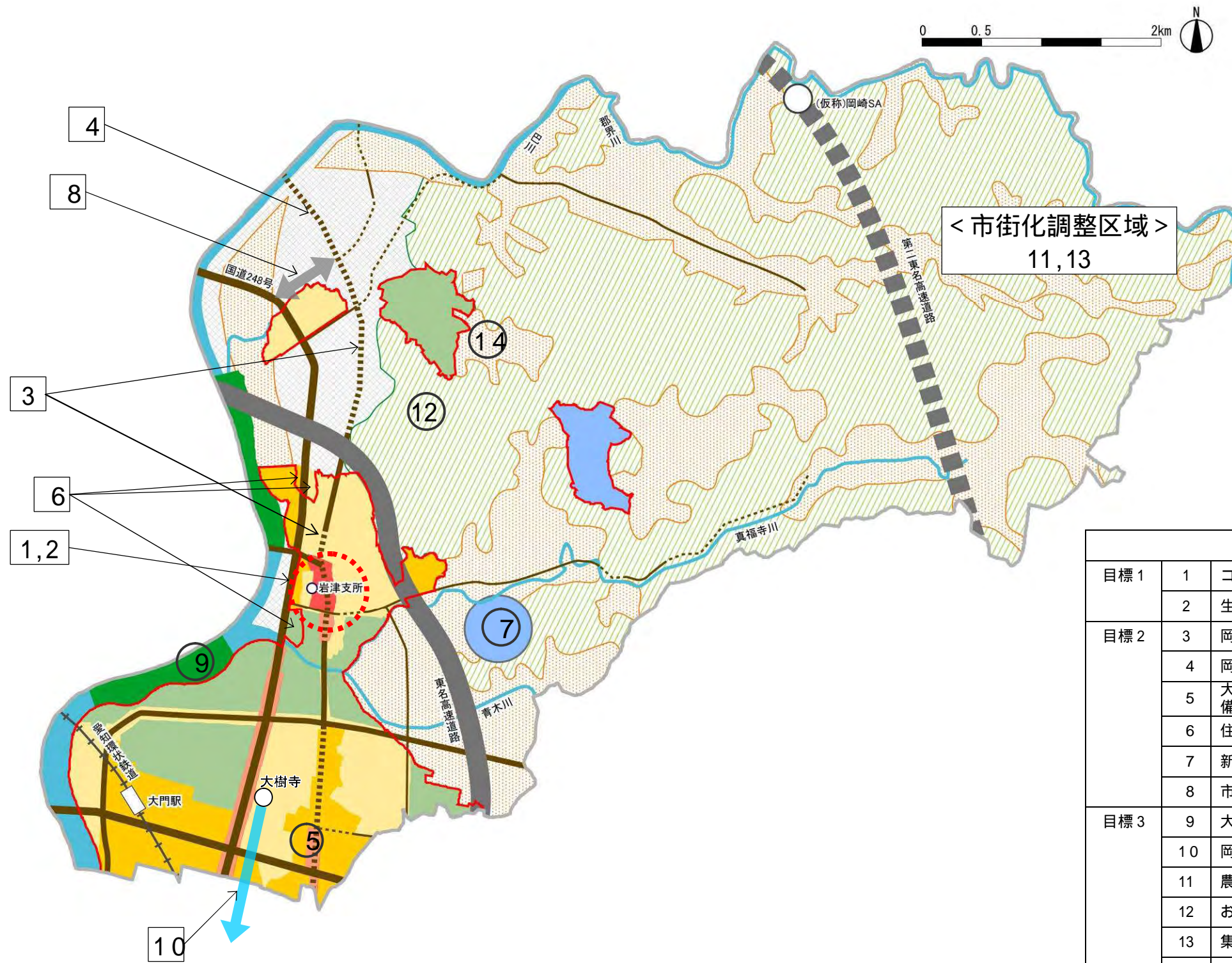


おかざき自然体験村のビオトープ  
(平成18年度定期観察報告書)



# 岩津地域のまちづくり構想図

- 専用住宅地
- 一般住宅地
- 商業賑わい地
- 沿道複合地
- 複合市街地
- 工業地
- 学術文教地
- 主な公園・緑地
- 森林保全地（市街化調整区域）
- 農業保全地（市街化調整区域）
- その他（市街化調整区域）
- 市街化区域境界
- 高速道路（計画）
- 主要幹線道路（未整備）
- 都市幹線道路（未整備）
- 地区幹線道路（未整備）
- 新規・拡幅構想道路
- 拠点等の区域
- 河川事業区間
- 施策の概ねの位置に図示
- 施策の位置を矢印で示す



<市街化調整区域>  
11, 13

計画の内容		
目標 1	1	コミュニティ・交流機能の強化
	2	生活利便機能の強化
目標 2	3	岡崎駅平戸橋線の整備
	4	岡崎豊田線の整備
	5	大樹寺バスターミナルにおける快適な待合空間の整備
	6	住居系市街地の形成
	7	新たな工業地の確保
	8	市道岩津細川線バイパスの整備
目標 3	9	大門河川緑地の整備
	10	岡崎城の眺望の確保
	11	農地等の保全
	12	おかざき自然体験の森の充実
	13	集落環境の維持・向上
	14	奥山田のしだれ桜の保全・活用